

平成28年度 都市農村共生・対流総合対策交付金(山村活性化支援対策)事業実施評価書

1. 事業名

・山村活性化支援対策

2. 事業実施主体名

・江津市地域資源活用協議会

3. 事業概要

・事業目的

○桑

機能性表示食品制度の取得に向けて、研究機関や健康食品関連企業との連携により共同研究を行い、ヒトによる機能性成分の臨床試験と商品試作・テストを行った。

○コケ

地元企業等と連携し、都市部での新規の販路開拓を行った。

○未利用木材

森林所有者が自ら伐採・搬出・出荷ができるようチェーンソーの目立てや扱い方、立木の伐採訓練、ロープ集材機を使った技術研修会や森林に対する勉強会を実施し、山主の合意形成を図った。

・事業費・交付額(単位:円) 事業費 8,580,667円 交付額 7,967,600円

・事業実施期間 平成28年4月25日 ～ 平成29年3月24日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

○桑

1年目に引きつづき2年目についても、機能性表示食品制度の取得に向けた共同研究の期間としたため、平成28年度に計上していた商品売上及び桑の新植・改植にともなう圃場拡大による雇用人数、機能性表示制度に取り組む雇用人数の実績はなく、目標は達成できなかったが、研究機関への委託により、桑の研究成果の結果は得られており、3年目では桑の実需者において、研究成果を活かした商品開発を行う。

○コケ

コケの加工による付加価値商品の創出及び都市部での販売促進の取組を行ったが、商品売上は9,760千円となり、達成率86%と目標を達成できていない。しかし、都市部における反応は良好であり、今後の営業にいかしていきたい。

コケ事業に取組む事業者における雇用人数は減少しているが、コケ生産者数は増加しており、耕作放棄地等利用面積は目標値に対して108%と、目標を達成している。

○未利用木材

1年目は、林業事業体の雇用人数について、不測の退職者が多数出たため48人となり、目標に対し76%の達成、木材出荷登録者数については19人となり190%の達成率となった。自伐林業木材出荷金額については、527,600円と達成率が81%と目標を達成できていないが、出荷登録者数は増加しており、今後は労働生産性を高める研修を実施し、出荷金額を上げる取組を行っていきたい。

(2) 取組状況

○桑

機能性表示桑加工品の開発のため、桑の成分を含有した試作品を開発し、ヒトによる機能性成分の臨床試験を株式会社ネオサークルに委託し、試験結果等の成果品を得た。

○コケ

庭園デザイナー石原和幸氏や地元企業と連携し、コケ玉やテラリウムなどの商品開発や広島、東京での展示会を開催するなど計画通りの取組ができた。

また、島根県農業技術センターにコケの安定生産及び輸送に関する研究を委託し、研究成果を得た。

○未利用木材

チェーンソーによる伐木技術研修を2回、ロープウィンチによる集材技術研修を2回、森林に関する学習会を4回実施し、出荷登録者を増やすことができた。

- (3) 事業実績
- 桑
桑の成分を含有した試作品を開発し、ヒトによる機能性成分の臨床試験の研究成果を得て、機能性表示桑加工品の開発に向けて順調に段階を進めた。
- コケ
コケ玉やテラリウムなどのコケ商品の開発や、広島、東京での展示会開催により、江津のコケの認知度を高めることができたほか、広島市内大手小売店との継続取引を実現した。
また、コケの安定生産及び輸送に関する研究の成果を得たことにより、コケの安定的生産や輸送に関するノウハウを得た。
- 未利用木材
森林・林業に関する研修会、学習会を計8回実施し、延べ149名の参加があり、未利用木材の出荷登録者を19名に増やすことができた。
- (4) 実施体制
- 桑
桑の販売促進に向けた取組みについては有限会社桜江町桑茶生産組合が実施。
- コケ
コケの販売促進に向けた取組みについてはドクターリセラ株式会社及び江津市苔生産者の会が実施。
コケの生産については江津市苔生産者の会を中心に推進。
- 未利用木材・協議会事務局
- (5) その他事項
特になし

5. 事業実施結果

・目標達成状況

指標		目標値	実績値	達成率
桑	桑の新植・改植にともなう圃場拡大による雇用人数(人)	1人	0人	0%
	機能性表示制度に取り組む雇用人数(人)	1人	0人	0%
	(全体雇用)	(29)人	(27)人	93%
コケ	機能性に特化した商品売上(円)	4,200,000円	0円	0%
	コケ事業に取り組む雇用人数(江津市内)(人)	8人	3人	38%
	耕作放棄地等利用(解消)面積(㎡)	13,300㎡	14,395㎡	108%
未利用木材	コケ商品売上(円)	11,400,000円	9,760,000円	86%
	市内林業事業体雇用人数(人)	63人	48人	76%
	自伐林業木材出荷登録者数(人)	10人	19人	190%
自伐林業木材出荷金額(円)		648,000円	527,600円	81%

(計測方法)

- 桑
- ・雇用人数: 有限会社桜江町桑茶生産組合からの聞き取りにより確認
 - ・機能性に特化した商品売上: 有限会社桜江町桑茶生産組合からの聞き取りにより確認
- コケ
- ・雇用人数: ドクターリセラ株式会社からの聞き取りにより確認
 - ・耕作放棄地等利用(解消)面積: コケ生産者への聞き取りにより確認
 - ・コケ商品の売上: ドクターリセラ株式会社からの聞き取りにより確認
- 未利用木材
- ・市内林業事業体雇用人数: 市内林業事業体からの聞き取りにより確認
 - ・自伐林業木材出荷登録者数: 江津市の補助制度に対する出荷登録者数により確認
 - ・自伐林業木材出荷金額: 江津市の補助制度に対する出荷実績により確認

・所 見

○桑
桑の販売促進については、計画通り機能性表示加工品に開発に向けた研究成果が得られた。

○コケ
コケの販売促進については、地域・都市部での認知度が高まり、売り上げについては9,760千円と、目標値を下回ったものの、順調に売り上げを伸ばしている。また、生産についても、取組みの認知度の向上と共に生産者が増加しており、成果は堅実に表れている。

○未利用木材
未利用木材については、バイオマス発電により安定的な需要があることから、木材の生産が課題である。市内林業事業体の雇用人数については、定年退職者や辞職者が多数あったため、目標値63人を大きく下回ったが、林業事業体は雇用に意欲的であり、目標を上回る求人を行っている。
自伐林業者の木材出荷金額については、出荷者の技術が未熟だったため生産性が低く、目標値648,000円を達成できなかった。
平成29年度では、出荷者の確保と共に生産性の向上のため、搬出技術の練度を高める取組により年度目標の達成を目指す。